

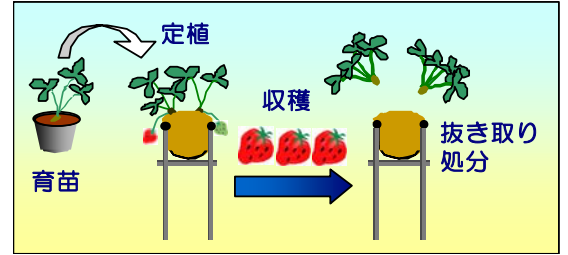
# イチゴ「株据置栽培」 生産株の継続利用法

イチゴの収穫終了後に株をそのまま栽培ベッドに据置いて、次作の生産株として継続利用する「株据置栽培」の技術開発を行っています。

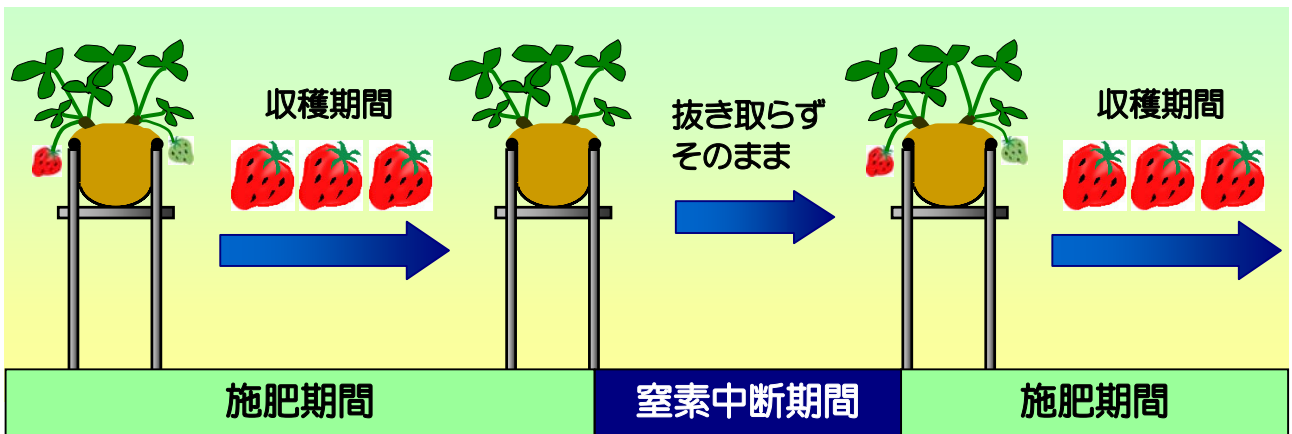
(特許第3809475号)

技術のポイントは・・・

- ①5月上旬～6月上旬から窒素中断を開始する。
- ②花芽分化を確認したら、施肥を再開する。
- ③窒素中断期間は、ランナー・古葉を適宜除去。



慣行のイチゴ栽培



イチゴ生産株を継続利用する株据置栽培

本技術により・・・

- ①育苗作業を省略でき、300時間/10a以上の省力化を可能とします。
- ②早期に花芽分化でき、11月からの早期収穫が可能となります。

